

1. 小学生から中学生へ ～子供たちの変化～

中学校生活は、短い期間ですが、その3年間に生徒たちは心身ともに大きな変化をします。第2次性徴期の訪れとともに体つきが徐々に大人らしくなります。また、目に見える変化だけでなく、それ以上に心に変化していきます。その過程で、内外のことに目を向け、「自分とは何か」、「社会とは何か」というような「思索の旅」を始めます。具体的に、親離れをして、新しい価値観を構築したりするかと思うと、同年齢の仲間の価値観が優先されたりする傾向が、この時期にはしばしば見られます。これは、11歳前後から始まり、18歳ごろまで続く思春期の特徴です。中には、体の成長に心の成熟が伴わず、素直になれない生徒も出てきます。

このような時期だからこそ、学校と保護者が連携し、成長のサポートをしていくことが重要です。

2. 本校の指導の基本方針

自己を律する力を育てる指導を目指して

それぞれの場面で、どのような行動をしたらよいか、適切に判断し、選択する能力を育てる。そのために、生徒に自分の意志で選択する機会や自ら決断し責任をもってなしとげる体験等を通して、自分の行動を選択する根拠をより質の高いものに形成していく指導に努めてまいります。

教育活動全体を通じ、集団生活のあり方を身に付けさせていきます。

[指導内容] 学校での生活規律を守り、基本的生活習慣（学校生活の基本スタイル）を定着する。

- ① 時間にそった行動（登校時間・始業時のチャイム着席・集会時の集合・下校時間など）をとれるようにする。
- ② 服装や頭髮・持ち物などのきまりの意味を理解し自ら守れるようにする。
(キャリア教育、進路指導)
- ③ 学級・学年活動や生徒会活動を通して、自治力を高め、生徒自らが学校生活をより良い方向にもっていこうと努力する姿勢や行動を育てる。

3. 生活のきまりについて

一中では、生徒が安心して学校生活が過ごせるように、そして授業に集中できるように、きまりを設定しています。学校のきまりについては、「生活指導部通信」等の書面やメール配信、全校朝礼、学年集会等で確認をしております。「生活のきまり」については一中のホームページに掲載していますので、ご確認ください。また、学校のきまりも時代の流れに合わせ、生徒や保護者の方の意見を取り入れ、見直しを図っています。見直しは、職員会議で検討し、校長が決定します。生徒が落ち着いて学習や行事等に参加することができるよう、学校の方針にご理解、ご協力をお願いします。

<確認事項>

- ・ 不要物の持ち込みがあった場合、原則として保護者に直接返却することとなっています。
- ・ 学校の設備を故意に破損した場合、修理費を保護者に負担していただくことがあります。
- ・ 化粧、髪を染めることは通年認めていません。

※ご家庭や生徒自身の事情などあるかと思いますが、ご心配なことあれば遠慮なくご相談ください。

4. いじめに対する取組について

一中では、「日野第一中学校いじめ防止対策基本方針」を策定し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努めております。また、「いじめは絶対に許されない行為」という信念のもと、教職員一丸となって対応しています。

「いじめ」は、「当該児童生徒が一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的に苦痛を感じているもの」、と定義されています。つまり、対人関係において「嫌だ」と感じたことを「いじめ」と捉え、一中では対応しています。

- ・未然に防ぐために

- 「いじめ（について考える）授業」「セーフティ教室」「生活指導部通信」

- 「学校朝礼での安全指導」「AiGrowを活用したメタ認知」など

- ・早期発見のために

- 「（毎月）生活アンケート」「相談フォームの常設」

- ・早期対応など

- いじめ防止対策委員会を中心とした組織的な対応

- 教育相談部と中心とした、心のケアへの対応（スクールカウンセラー等の連携）

- 警察に相談するなど、第三者機関との連携

5. 部活動について

○活動日は顧問が定め、活動日数は、スポーツ庁、文化庁、東京都、日野市のガイドラインに沿って実施しています。

○活動時間は顧問の判断で18時30分完全下校できるように行う。冬季（11月～2月）の活動時間は原則17時30分下校です。

○部活開設一覧

野球部・サッカー・ソフトテニス・剣道・男女バスケ・陸上競技・水泳・柔道・女子バレー

家庭科・合唱・吹奏楽・美術・社会科学・自然科学・報道・文芸・ボランティア・三味線

6. 一中学生の様子について

一中学生は「礼儀正しく」「パワフル」で「クリエイティブ」です。

一中学生が主体となって行う生徒会活動では、生徒の発想や情熱を生かした活動で、学校を盛り上げています。生徒たちが自分たちで考えて楽しむ場面が、一中では多く見られます。

生徒一人一人が学校の活動にやりがいを見出し、自主的に考え、主体的に活動できるよう、教職員全体でサポートしています。